八碁連だより

令和６年３月号

第 389 号

発行日　令和６年３月１日(金)

発行所　八王子囲碁連盟

住所　八王子市大和田町

6-3-29-1119

電　話　042-646-0783

発行者　池田 正三

編集者　荒畑 昭一

長福寺（萩寺）（川口町）

https://hachigoren.com

八王子囲碁連盟

八王子囲碁連盟の目的

八碁連は市民が、伝統文化である囲碁を通じて親睦を図り、健康が維持できるような機会を提供し棋力の向上を目指すとともに、囲碁の啓蒙と普及に努めることを目的とする。

巻頭言

千年の歴史・鳥栖観音 ＆ 萩寺になった長福寺

日本棋院　普及指導員　　倉内　満

22 年前、川口町のダイヤタウンという分譲住宅に移り住みました。ダイヤタウンの北側の一角に鳥栖公園という名前の公園が有りました。この辺は川口町の中部になり、市役所の事務所、小学校、中学校、農協、駐在所などが集まっ

ています。

また少し離れた周辺には時宗河口山法蓮寺、真言宗鳥栖山長福寺や日枝神社、八幡神社、熊野神社などが点在しています。前述の鳥栖公園には何か歴史的な因縁があるのではと好奇心が湧いてきました。「萩寺」の名で知られる鳥栖山長福寺の裏山に観音堂の甍（いらか）がそびえて見えます。

この観音は、火防の観音として、古来、人々の尊崇する所でありました。

この本尊千手観音立像は、行基の作と伝えられ、木造像高 110 センチ、金色の光背、蓮華座を含めると 185 センチの大きさで厨子の中に安置されています。

その昔、上川町黒沢のゴルフ場の近く御堂山にあったのが、火災にあった時、本尊は東の山中現川口町字鳥ノ栖に逃れ焼失を免れたといいます。この本尊は千年の歴史を秘めて火災から逃げていることから、火防の観音と呼ばれ信仰されてきたものです。

鳥栖観音堂
（火防の観音）

長福寺は宝生寺鳥栖山観音院長福寺と号し、元来は鳥栖観音堂の別当寺であります。開山は勝意、中興開山は頼永法印（1679 年入寂）と記されております。現在は、真言宗智山派に属し、関東の名刹大本山高尾山薬王院の法類であります。

先代飯沢智隆和尚は仙台伊達家の縁者で、こよなく仙台萩を愛し、境内に沢山の萩を植え、いつしか長福寺の別名を萩寺と称するようになりました。塔頭に萩の寺（白萩堂）があり、本尊に伊達騒動の殿様伊達綱宗公が作られた聖観音像（子育て観音）、木造、像高 40 センチが祭られています。

理 事 会 議 事 録

令和５年度　第 10 回理事会議事録

日時：令和 6 年 1 月 20 日（土曜日）9 時 00 分～12 時 00 分

場所：大横保健福祉センター　第 1 会議室（1 階）
出席者：池田、澤田(議事録作成)、木村、荒畑、金本、端山（欠席）

会長報告

・12 月 27 日　学園都市文化課から八碁連タイトル囲碁大会及び女性囲碁大会の後援名義使用承認（12 月 23 日付け）。
・12 月 28 日　各囲碁同好会長へ女性大会のチラシ送付。
各囲碁同好会長へ令和 6 年度活きいき大会日程案送付。
・1 月 7 日　各囲碁同好会長へ令和 6 年度前期「巻頭言」輪番の連絡。
・1 月 13 日　東浅川保健福祉センターへ保管物品の搬入等（関係理事）。

各理事報告

・３月号の記事は巻頭言、理事会議事録、同好会対抗団体戦・タイトル戦・女性大会の結果、総会の案内を予定。
・同好会対抗囲碁団体戦の参加チームについては、討議事項で説明。
・決算の締め切りが２月 15 日であり、各理事とも経費の精算を逐次お願いしたい。（各大会当日も対応）
・来年度の子ども囲碁大会は、6 月 30 日予定で東浅川保健福祉センターを先行予約済み。(会長代理報告)

議案討議事項

1　八碁連同好会対抗団体囲碁大会の最終打合せ
参加チームの最終確認、競技委員の確定、対局カード、対戦表等の確認。
・参加チームは台町を除き 15 チームであり、16 チームとするため理事（新旧）チームを編成する。人選は会長に一任。
・競技委員は、会長のほか理事チームの編成により決定。
・対戦表は、理事チーム決定後、競技担当理事で作成し、会長へ送付。

2　八碁連タイトル囲碁大会の準備について

各同好会からの報告状況、準備作業の状況。

・現在参加申し込みは 3 同好会のみであり、締め切りが明日 21 日なので残りの同好会には会長からメールで連絡する。

3　総会資料の作成について

事業報告及び計画、規約改正等提案内容の検討、執筆分担等について検討

・事業報告案について確認、研修部や初心者教室、日本棋院八碁連支部等については、別途担当者へ確認依頼を行う。

・事業計画案について確認、一部修正。研修部や初心者教室、日本棋院八碁連支部等については、別途担当者へ確認依頼を行う。

・規約等の改正案については、川口囲碁同好会の脱退に関する条文改正、各同好会で初段まで認定できる条文改正を提案する。

・6 年度予算案では、新規会員獲得のための予算措置、八碁連 HP の運営契約に関する予算措置を提案する。

4　その他

（1）八碁連ＨＰの運営管理に関する件（報告）

現在のワードプレスで運営可能な八王子市内の会社と折衝中であり、月 7 千円以下を前提に 4 月からの運営管理を目指して取り組んでいる。

次回理事会は 2 月 24 日(土)、9:00～

場所　大横保健福祉センター第 1 会議室

★第 1 回八碁連同好会対抗団体囲碁大会結果報告

主催　八王子囲碁連盟

日時　令和 6 年 1 月 28 日（日）午前 9:15～16:00

会場　東浅川保健福祉センター　４階
参加資格　八碁連会員で各地区同好会からの選抜者
参加チーム　16 チーム
チーム編成　１チーム３人（段位は目安）
1)主将（六段以上）
2)副将（三段～五段）
3)３将（二段以下）

開会式・会長挨拶

暖かな晴天に恵まれたこの日、八碁連同好会対抗団体大会が、[illegible]れました。運営や進行にやや心配を抱えながらも、珍しい団体対抗戦とあって盛り上がりました。

同好会の対抗意識と共に、一方で交流、親睦も兼ね、笑いと勝負の中で皆さん「楽しかった。」との評価が多く聞かれました。

大会成績は下記の通り

優　勝	浅川Ａチーム	４勝
準優勝	南大沢Ｂチーム	３勝１敗
３位	恩方Ｂチーム	３勝１敗
飛び賞 10 位	元八王子Ａチーム	

※3 位以下の順位は、チーム勝点（勝てば 1 点、負ければ 0 点）の合計で判定、勝点が同じ場合は、チーム勝数（2 勝 1 敗であれば 2 点）の合計で判定。勝ち数も同じ場合は、じゃんけんで判定。

司 会 進 行

★第 29 回タイトル囲碁大会結果報告

日時：令和６年２月４日（日）午前 9:15～17:00
場所：東浅川保健福祉センター　４階

長らく改修工事の為、使用不可となっていた当センターが、本年 1 月より使

用できる事となり、元の巣に戻れたと言う感じで喜ばしいことである。

　そのせいもあって、各棋戦とも選抜された選手により熱戦が繰り広げられ、盛り上がりを見せました。

観客を集める熱戦

大会成績

　名人戦　16名　優勝　棚原英治　元八王子／六段→六段Ａ

　　準優勝　小川浄二　南大沢/八段　　三位　佐々木胖充　大和田／四段Ａ

　王座戦　17名　優勝　浮邉廣行　南大沢／四段→四段Ａ

　　準優勝　小高茂夫　石川／四段　三位　相澤秀一　浅川／七段

　天狗戦　17名　優勝　青山　格　大和田／七段

　　準優勝　藤森　力　恩方／七段　三位　堀　哲夫　南大沢／初段

名人戦優勝の
棚原英治さん

王座戦優勝の
浮邉廣行さん

天狗戦優勝の
青山　格さん

★第３回女性囲碁大会結果報告

・**日時**　令和６年２月１１日（日）9:15～17:00

・**会場**　東浅川保健福祉センター　４階

　本大会は、その参加資格を、八碁連女性会員のみならず、八王子市内または近隣市町村に在住、在勤、在学の女性を対象としているオープン大会である。今回、子供も３人参加、世代を超えた親睦と交流、戦いがおり混ざって盛り上がった。

参加者　17名

大会成績

　優　勝　吾妻富子　恩方／３級→２級

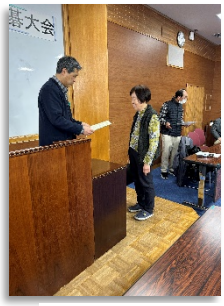
準優勝　浅野恵美子　大和田／二段　三位　戸田悦子　一般／５級→４級

　　上記以外の昇級者

　　小倉小代美　長房／６級→５級　山下伊織／大和田　９級→７級

お知らせ

真 剣 に 対 局



優勝の吾妻さん

★第 32 回活きいき大会のご案内

　いよいよ令和６年度の活きいき大会の幕開けとなります。

本年も浅川同好会から始まり貴重な昇級、昇段のチャンスとなりますので多くの方の参加申し込みをお願いします。皆さんのご健闘と活躍をお祈りします。

【浅川大会】　マスク着用推奨

開催日：令和６年４月７日（日）

受　付：午前９時 10 分～、９時３０分開始予定

会　場：横山南市民センター　tel 666-0031

参加費：会員 1,000 円、非会員 1,200 円　（弁当付き）

申込先：各囲碁同好会長→浅川囲碁同好会長　三島敏明

　　メール　toshi15mishima@kta.biglobe.ne.jp

　　（Fax でも可　042－657－3447）

申込期限：令和６年３月 24(日)　欠席等の変更は事前にご連絡ください。

★令和６年度八碁連定例総会について

・**開催日**：令和６年３月 10 日（日）午前 9:30～12:00

・**会　場**：大横保健福祉センター　第４会議室

・**出席者**：各同好会長(代理含む)、日本棋院八碁連支部担当、研修部担当、初心者教室担当、新旧理事等

・**議　題**：令和５年度事業報告、令和５年度決算報告、令和６年度事業計画案、令和６年度予算案、令和６年度提案事項、令和６年度役員案

※総会資料は、追って郵送等でお届けします。

【編集後記】

２月の新聞報道や公共放送で、将棋界の藤井竜王の年収が発表されていた。2023 年の賞金、タイトル料の合計が１億 8,000 万円を超えていた。驚きに値する。以前にこの欄で、将棋より、囲碁界の劣勢を悔やんだことがあるが、その差は更に広がっているのであろうか。

井山裕太王座 9,000 万円、一力　遼棋聖が 7,500 万円,芝野虎丸十段 5,000 万円等々見劣りがする。女流棋士になると、更に低く、最高でも上野愛咲美女流名人 2,800 万である。先日、女流棋聖戦が２月５日、仲邑　菫棋聖と上野梨紗二段の対戦があった。10 代同志の対決と注目を集めた。結果は、上野二段に勝利の女神がついたが、この対局のスポンサーは、NTT ドコモ、賞金は 500 万円だった。

こうした若い棋士たちが、新聞やマスコミで報道されると喜ばしく思う。囲碁界のカリスマ的選手の台頭を待ちたい。

編集後記も、ちょうど１年を過ぎた。今回の「巻頭言」は、お忙しい中、その締めを飾って頂きたく、同じ川口町に在住する日本棋院の倉内先生にご登壇頂きました。じっくり読んで頂きたいと思います。誌上からですが、厚く御礼申し上げます。有難うございました。（S・A）

長福寺全景